

みんなのサロン

塩屋幼稚園の巻

おとうさん、あのね…



まえで まさき くん(5さい)

おとうさん
すいぞくかんに
つれていってくわ
ありがとう♥
また いきたいな!!

おかあさん、あのね…



うえの ゆずき ちゃん(5さい)

いつも えほんを
よんでくわ
ありがとう!!
ママ
だいすきだよ♥

野球でつけた根性で、勉強などをがんばり、 保育士を目指します！

ぼくの夢 わたしの夢



ぼくは、保育士になることが夢です。
なぜなら、小さい子はかわい
いし、めんどろを見るのが
好きだからです。一緒に
ごっこや、ボール遊びをして
遊んであげたいです。でも、
ぼくは勉強が苦手で、ピアノ
もできないし、いっぱい努力
しなければなりません。
野球で根性をつけて、その
根性で勉強やピアノをがんば
り、ぜったいに保育士になり
たいです。

尾藤翔太郎くん
塩屋小学校6年



私は春休みに、日本にいる間に行きたかった場所の1つである広島に行ってきました。私は広島でのほとんどの時間を平和記念公園と原爆ドームで過ごし、そこで戦争の傷跡を見て、悲しい気持ちになりました。広島平和記念資料館では、被爆者の生々しい写真などが展示されていたり、生存者の方が、トラウマに苦しんでいる様子が紹介されていました。

平和記念公園内「原爆の子の像」のモデルとなった佐々木禎子^{ささきまこと}さんのお話には、とても感情が揺さぶられました。彼女は2歳で被爆し、10年後に白血病で亡くなりました。彼女は折り鶴を折りながら、回復を願っていたそうです。彼女の死をきっかけに、被爆者や世界中の子どもたちのことを思い、折り鶴を抱いた天使のような彼女の像が建てられました。

また、広島は歴史・芸術面、ショッピングなどの場所としても魅力的な街でした。路面電車に乗っていると、まるで昔に戻ったようでした。私は広島が大好きになり、街を離れるときに悲しい気持ちになるのを止められませんでした。

1945年8月に起こった出来事の傷跡と悲しい記憶、繁栄し、エキサイティングで、近代的な若さを併せ持つこの街で、人々は笑い、花見などを楽しみながら快活に日々を生きています。Life goes on(それでも人生は続いていくのですから)。



▲平和記念公園

エイミーの花まるエッセイ

春休み